



接着剤(熱間・冷間)

《接着剤について》

1. 接着剤用途説明 各種造型鑄型の組み立て時または張り合わせ時に使用。

2. 接着剤特性

2-1. 熱間接着用

銘柄	形状	フロー (mm/125℃)	ゲルタイム (秒/150℃)	融点 (℃)	粘度 (mPa·s/30℃)	特徴
SP661	粉末	20-30	70-90	80-90	-	一般用
SP50Y		40-50	20-30	81-86		低温鑄型用
SP50	ペースト状	-			7,000-9,000	やや低温鑄型用
SP661PSHW					1,500-2,000	冬型高温用
SP661PSHS					2,000-2,500	夏型高温用

2-2. 冷間接着用

銘柄	外観	粘度(mPa·s/30℃)	包装形態
AVペーストVL	灰色ペースト状	30,000-40,000	300gチューブ入り 1箱30本
AVペーストV2	灰色ペースト状	80,000-90,000	300gチューブ入り 1箱30本

3. 接着強度

3-1. 試験結果(熱間接着用)

温度	時間	SP661	SP50Y	SP50	SP661PSH(S)
150℃	5分	11	25	44	14
	15分	72	78	82	54
	30分	88	110	118	83
	24時間	94	135	176	95
200℃	5分	122	180	318	237
	15分	196	198	382	343
	30分	194	200	シェル強度より大	←
	24時間	208	212	シェル強度より大	←
250℃	5分	127	200	237	196
	15分	269	276	289	299
	30分	シェル強度より大	←	286	310
	24時間	シェル強度より大	←	292	331

単位: N/cm² ※シェル強度(抗張力)は441N/cm²

3-2. 試験結果(冷間接着用)

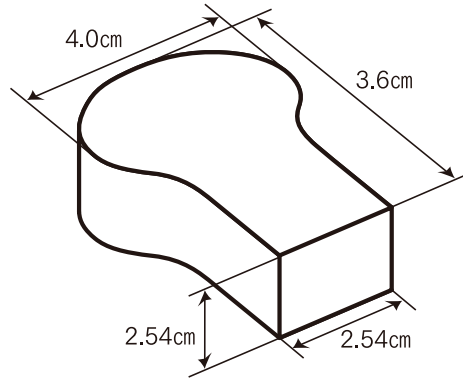
放置時間	AVペースト VL	AVペースト V2
0.5時間	26.7	30.8
1.0時間	43.0	46.3
3.0時間	56.2	59.7
24.0時間	60.5	65.3

室温(20℃)にて測定。 単位: N/cm² ※シェル強度(抗張力)は441N/cm²



3-3. 試験法

右図の形状のテストピースをオーブン中で所定温度にした後、テストピース接着面に接着剤0.3gを塗り、もう一個のテストピースを擦り合わせ、接着剤を広げ1分間圧着する。室温で所定時間放置後、抗張力試験機で接着強度を測定する。尚、テストピースはジルコンRCSで造型しその強度(抗張力)は441N/cm²である。



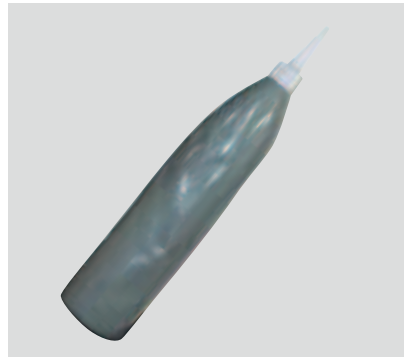
※接着面積: $2.54 \times 2.54 = 6.45\text{cm}^2$



粉末接着剤



液状接着剤



AVペースト

《お問い合わせ先》

東京本社 〒110-0005 東京都台東区上野3丁目24番6号上野フロンティアタワー21階
TEL:03(5826)8820 FAX:03(3834)7590

樹脂事業部

東日本 〒324-0037 栃木県大田原市上石上字東山1840番地
TEL:0287(29)1881 FAX:0287(29)2828

中日本 〒480-0105 愛知県丹羽郡扶桑町大字南山名字新津26番地4
TEL:0587(92)9111 FAX:0587(92)9110

西日本 〒732-0827 広島市南区稻荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビル9F
TEL:082(568)5503 FAX:082(263)5105

愛知工場 〒480-0105 愛知県丹羽郡扶桑町大字南山名字新津26番地4
TEL:0587(93)1030 FAX:0587(93)8850

樹脂事業部 〒480-0105 愛知県丹羽郡扶桑町大字南山名字新津26番地4
樹脂技術開発部 TEL:0587(93)1020 FAX:0587(93)9670